

東本郷地区

東本郷地区別計画推進委員会

地域

東本郷1～6丁目、東本郷町

緑区の東端に位置し、地区の東側は港北区、南側は神奈川区、北側は都筑区に隣接しています。北側は平野が広がり一部は農地となっていますが、南側は台地となっており、昭和40年代からの計画的な宅地開発により、戸建てや集合住宅の集まる住宅地となっています。

坂道が多く、最寄りの鴨居駅まで距離がある地域もありますが、平成19年3月に住民の要望によりミニバスが開通し、多くの住民に利用されています。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：東本郷小学校、東鴨居中学校（鴨居地区と共有）

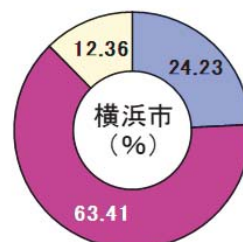
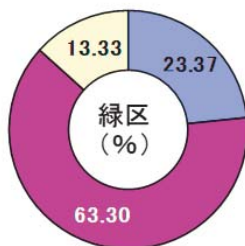
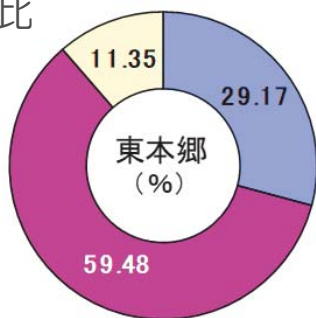
地域ケアプラザ等：横浜市東本郷地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成30年(2018年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



75歳～	1,966人
65～74歳	1,717人
15～64歳	7,509人
6～14歳	924人
0～5歳	509人
合計	12,625人

75歳～	20,959人
65～74歳	21,270人
15～64歳	114,390人
6～14歳	15,061人
0～5歳	9,037人
合計	180,717人

75歳～	454,366人
65～74歳	452,709人
15～64歳	2,374,255人
6～14歳	285,140人
0～5歳	177,762人
合計	3,744,232人

地区別計画推進委員会の開催状況

第1回

平成30年6月11日
18:30～20:30

東本郷地域ケアプラザ

- ・第3期計画について
- ・4つの専門委員会活動報告
- ・ひがほん郷まつりについて

第2回

平成30年9月13日
17:30～19:30

東本郷地域ケアプラザ

- ・4つの専門委員会の進捗状況報告
- ・ひがほん郷まつりについて

第3回

平成31年1月21日
17:30～19:30

東本郷地域ケアプラザ

- ・ひがほん郷まつり報告
- ・専門委員会の進捗状況
- ・第3期計画の現状

通信No.15 発行

通信No.16 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成30年度地区別計画推進状況



東本郷地区



**「この街に住んでよかった!」と
みんなが思える東本郷を目指して!**

東本郷地区では、5本の柱と具体的なアクションプランを策定し、急速な少子高齢化に伴う問題や地域課題等に対し、“4つの専門委員会”を組織し、より具体的な議論や取組を推進しています。(今年度の主な取組をご紹介します)

高齢者支援ネットワークづくり委員会

緊急連絡先「黄色いカード」や見守り普及啓発用の回覧シートの活用推進



認知症に関する委員会

「認知症すごろく」の取組推進(緑区版を作成)



子ども・子育て支援委員会

常設型のこどもの居場所の立ち上げを目指して、勉強会等を開きながら検討中。(ヨコハマ市民まち普請事業にもチャレンジ)
(写真:プレゼン資料→)



東本郷健康づくりに関する委員会

健康講座「健康寿命の延伸~人生100年時代を迎えて~」開催
(講師:医療法人社団三喜会副理事長 桐田孝史先生)



今年も、まちがひとつに。 ~子どもたちに“ふるさと”を次世代につないでいくために~

この計画を推進する中で誕生し、「0歳から100歳までの人のつながり」をキャッチフレーズに、地域と学校が連携して開催している「ひがほん 郷まつり」も第8回を迎えました。

6年生の時にはフィナーレでソーラン節を踊り、中学生になったら今度はボランティアで運営を手伝ってくれています。子どもたちの思い出とともに、次世代に「受け継がれるもの」が確かに形になってきています。



今年度は、あいにくの雨模様でフィナーレのソーラン節も体育館に会場変更。それでも、子どもたちの大きな掛け声と熱気は体育館に反響し、迫力満点の演技が披露されました。(写真:「第8回 ひがほん 郷まつり ソーラン節」の様子)

引き続き、5つの目標の実現に向けて、各団体が連携しながら取組を進め、「この街に住んで良かった!」とみんなが思える 東本郷 を目指します!

東本郷地区別計画推進委員会



平成30年9月発行 第3期 No.5 (通算No.15)

<連絡先>東本郷地区別計画推進委員会事務局(緑区総務課) TEL:930-2204

東本郷地区別計画推進委員会通信



平成30年6月11日(月)、東本郷地域ケアプラザにおいて、今年度第1回「みどりのわ・ささえ愛プラン 東本郷地区別計画推進委員会」を開催しました。その内容をご紹介します。

東本郷地区別計画を推進していく中で誕生し、多くの皆様の尽力で東本郷地区最大級のイベントに育った「ひがほん 郷(ふるさと)まつり」。今年、第8回目の開催が決定しました!

このお祭りが始まった時の小学低学年生が、いまはもう中学生。6年生の時にはフィナーレで「ソーラン節」を踊り、中学生になったら今度はボランティアで運営を手伝ってくれています。8回の歴史を重ねる中で、子どもたちの思い出とともに、「受け継がれるもの」が確かな形になってきています。

「あらゆる年代の人たちがつながり合って支え合おう!」という目標に向かって、今年度も推進委員会メンバーを中心とした「実行委員会」が、具体的な内容を検討していきます。

**第8回
開催決定!**

昨年度は、約4,000人の方が参加してくださいました! 0歳~100歳まで、世代を超えての交流を目指します!



山口委員長



東本郷地区では、地区別計画に、つながりづくりや健康づくり、見守りなどの5つの目標を掲げ様々な取組を進めています。そのために、昨年度からは4つの専門委員会を組織し、より具体的な議論・取組の推進を図っています。裏面もぜひご覧ください。

<委員メンバー>東本郷地区別計画推進委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●保健活動推進員 ●老人クラブ連合会
- 環境事業推進委員 ●まちづくり協議会 ●友愛活動員 ●スポーツ推進委員 ●青少年指導員 ●地域防災拠点運営委員会
- 家庭防災員 ●子育てサロン ●ささえ愛の会 ●東本郷公園愛護会 ●みどり養護学校 ●東本郷小学校
- 東本郷小学校PTA ●東本郷小学校コミュニティハウス ●東鴨居中学校 ●城郷中学校 ※順不同

4つの専門委員会の活動状況を報告



王尾さん

高齢者支援ネットワークづくり委員会

昨年度作成した、「緊急連絡先黄色いカード」の配布状況について確認。実際にカードが活用され、救急搬送時に役立つ事例も紹介されました。その他にも「ご近所ささえ合いマップ」という新しい見守りの手法にも取り組んでいます。ご近所の見守りが効果的であることを実感しています。今後も見守りを気になる地域で進めていきたいと考えています。

認知症に関する委員会

認知症に関する困りごとを、地域のお店に聞きました。いまのところは大きな問題は生じていないようですが、高齢者が多くなるこれからのことは心配です。また、水戸市の「認知症すごろく」という取組を参考に、地域のみなさんと楽しみながら認知症の理解を深めていく取組を進めています。さらに、「認知症キャラバン・メイト(※)」の活動も力を入れていきたい。小学校での認知症サポーター養成講座の開催など、いろいろな形で認知症に対する理解や対応の仕方を広めていけたらと考えています。



氣田さん

※「認知症キャラバン・メイト」とは…
認知症の普及啓発のため「認知症サポーター養成講座」を開催する時の講師です。

認知症すごろく→



大坂さん

健康づくりに関する委員会

委員会の周知のため「健康だより」を発行。地域全体で健康づくりに関する課題を検討しています。まず、高齢者の健康づくりに焦点を当てて取り組んでいきますが、5月20日に健康に対する意識調査(アンケート)を実施しました。結果を健康講座等に反映させていきます。

子ども・子育て支援委員会

地域の中での「子どもの居場所」について検討してきました。東本郷地域ケアプラザ内に居場所づくりを検討・試行しています。また、ケアプラザだけではなく、地域の中で集まりやすい場所にも常設型の「子どもの居場所」ができたという夢を描いてみたいと考え、横浜市の補助事業「ヨコハマ市民まち普請事業」に手をあげました。今後、いろいろな皆様のご意見もいただきながら、実現の必要性や可能性を考えていきたいと思ひます。



高林さん

※「ヨコハマ市民まち普請事業」とは…
市民のみなさんが地域の特性を生かした身近な生活環境の整備を自ら考え、つくりあげるための横浜市独自の助成事業です。助成を受けるためには、2回のコンテストを通過する必要があります。

地域福祉保健計画とは…
「誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して地域の福祉保健を推進するために区民の皆さま、事業者、行政が協働で取り組む計画」です。



→プランの情報は動画でも紹介中。
「みどりのわ 動画」で検索。

子どもの居場所づくりは、議論が始まったばかり。皆さんの声を聞きながら、いろいろな方法を考えていけたらいいね。





平成31年2月発行 第3期 No.6 (通算No.16)

<連絡先>東本郷地区別計画推進委員会事務局(緑区総務課)TEL:930-2204

東本郷地区別計画推進委員会通信



平成31年1月21日(月)、東本郷地域ケアプラザにおいて、今年度第2回「みどりのわ・ささえ愛プラン 東本郷地区別計画推進委員会」を開催しました。その内容をご紹介します。

今年度で第8回目の開催となった「ひがほん郷(ふるさと)まつり」の開催報告や4つの専門委員会の取組報告、第3期東本郷地区別計画の全体進捗状況等を確認しました。



今年度は、あいにくの雨模様にも関わらず約3,200人の方が参加してくださいました！ありがとうございました。
恒例のフィナーレのソーラン節も体育館になりましたが、例年以上に力強く熱い演技を披露してくれました。**子どもたちに故郷を。そして、0~100歳まで世代を超えての交流**を目指してスタートしたこの取組も8年目。この間だけでも、東本郷小学校の児童数は約200人も減りました。資金面での工夫も重ねながら、第9回、10回と続けていけるように、東本郷の知恵と力を結集して取り組んでいけたらと考えています。来年度もぜひ楽しみにしてください！



明田副委員長
(東本郷地区社会福祉協議会長)

<委員メンバー>東本郷地区別計画推進委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ● 各自治会 ● 地区社会福祉協議会 ● 民生委員・児童委員 ● 保健活動推進員 ● 老人クラブ連合会
- 環境事業推進委員 ● まちづくり協議会 ● 友愛活動員 ● スポーツ推進委員 ● 青少年指導員 ● 地域防災拠点運営委員会
- 家庭防災員 ● 子育てサロン ● ささえ愛の会 ● 東本郷公園愛護会 ● みどり養護学校 ● 東本郷小学校
- 東本郷小学校PTA ● 東本郷小学校コミュニティハウス ● 東鴨居中学校 ● 城郷中学校 ※順不同

4つの専門委員会の主な今年度の活動状況を報告（課題検討内容等含む）

高齢者支援ネットワーク
づくり委員会

- ・緊急時の連絡先等を記入し、冷蔵庫等に張り付けておく「黄色いカード」の普及啓発（継続）
- ・高齢化に伴い、独居や者夫婦世帯が増加している閉じこもりがち人へのアプローチも含め、買い物支援等についても考えているが、まずは視点を変えて「簡単に作れる料理の普及講座」などから検討中

東本郷
健康づくり委員会

- ・「健康だより」を2回発行
- ・ふるさと郷まつり等で健康意識アンケート実施
- ・「1日ラジオ体操」を実施（10月）
- ・健康講座「健康寿命の延伸～人生100歳時代を迎えて」（講師／医療法人社団三喜会 副理事長 桐田先生）開催（11月）



黄色いカード



見守り普及啓発
リーフレット



健康講座当日の様子



健康講座チラシ



健康意識アン
ケート調査

子ども・子育て
支援委員会

- ・常設型の新たな子どもの居場所づくりを目指して、ヨコハマ市民まち普請事業（※）に提案（一次コンテスト通過・二次辞退（設置場所候補再検討のため））
- ・子どもや親だけでなく、多世代の居場所にしたい。「この場所に来れば誰かに会える、人と情報があつまる」そんな場所になれたらいい
- ・居場所の必要性和現実的なプランニングのために議論や勉強会等を継続して検討中

認知症に関する委員会

- ・認知症すごろくは、ひがほん郷まつりや地区社協分科会でも体験
- ・「認知症」という言葉は知っているが実情は知らないという人は多いと思う。子どもや若い人にも、もっとして欲しい。機会をどうつくっていくかが課題



ヨコハマ市民まち普請事業一次コンテストの様子



認知症すごろくと郷まつりでの様子

※「ヨコハマ市民まち普請事業」とは…
市民のみなさんが地域の特性を生かした身近な生活環境の整備を自ら考え、つくりあげるための横浜市独自の助成事業です。助成を受けるためには、2回のコンテストを通過する必要があります。

地域福祉保健計画とは…
「誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して地域の福祉保健を推進するために区民の皆さま、事業者、行政が協働で取り組む計画」です。



→プランの情報は動画でも紹介中です。

その他にも、計画の目標にもあった「東本郷連合だより」が初めて発行されたことや、地区の消費生活相談委員さんたちと、ケアプラザが連携して取り組んでいる「振り込み詐欺防止」の啓発活動の取組み報告されました。

